



企業研究所で活躍する触覚研究者

Life and Work of Industrial Haptic Researchers

半田 拓也¹, 小玉 亮², 江口 僚³, ハプティクス研究委員会幹事団一同⁴

Takuya Handa, Ryo Kodama, Ryo Eguchi, SIG Haptics Committee

1) NHK 放送技術研究所 (〒 157-8510 東京都世田谷区砧 1-10-11, handa.t-es@nhk.or.jp)

2) 株式会社豊田中央研究所 (〒 480-1192 愛知県長久手市横道 41-1, kodama-r@mosk.tytlabs.co.jp)

3) 株式会社サイバーエージェント AI Lab (〒 150-6121 東京都渋谷区渋谷 2-24-12 渋谷スクランブルスクエア 22F, eguchi_ryo@cyberagent.co.jp)

4) 吉元 俊輔, 蜂須 拓, 佐瀬 一弥, 田辺 健, 雨宮 智浩

概要: 近年のハプティクス分野では、大学や公的研究機関の研究者のみならず、企業の研究者の活躍が華々しい。そこで、本 OS では、企業研究所に所属する若手からベテランまでの 3 名の触覚研究者に、企業ならではの研究や大学との違いをご講演いただく。本 OS を通して、学生や若手研究者にとってのキャリアパス選択の一助となり、大学等の研究者にとっては、学术界と産業界の橋渡しのきっかけなることを目指す。

キーワード: ハプティクス, 企業研究者, ワークライフバランス

1. 講演者

1.1 半田 拓也 (NHK 放送技術研究所)

題目 放送技術研究所の研究業務

概要 NHK 放送技術研究所は、日本唯一の放送技術分野を専門とする研究機関である。豊かな放送文化を築くために、研究開発の立場から貢献するという役割を担っており、新しい放送メディアの創造や番組制作技術の高度化に加えて、医療、教育などの分野でも成果が社会に還元されるよう研究開発に取り組んでいる。本講演では、ハプティクス関連の研究を中心に、放送メディアの研究における研究業務の概要を紹介する。

略歴 2001 年、電気通信大学大学院電子工学専攻修了。同年、NHK 入局。岡山放送局を経て、2005 年より、放送技術研究所においてユニバーサルサービス、ハプティックインタフェース、AR/VR、体験デザインなどの研究に従事。現在、NHK 放送技術研究所 空間表現メディア研究部 チーフ・リード。博士 (科学)。

1.2 小玉 亮 (株式会社豊田中央研究所)

題目 勤続 15 年の研究員からみた企業研究所

概要 博士前期課程修了後、企業研究所に研究員として 15 年勤めてきた。振り返ると、研究環境として、勤め先として、非常に良い研究所であったと感じている。もちろん、企業研究所特有の制約や限界もある。大学・公的研究機関と比較しながら企業研究所の特徴を説明する。

略歴 株式会社豊田中央研究所 研究員。2009 年豊橋技術科学

大学電気・電子工学専攻修了。2009 年より現職。2019 年電気通信大学総合情報学専攻博士課程修了。博士 (工学)。電波センサや、自動車をモーションプラットフォームとした体感型エンタテインメントシステムの開発に従事

1.3 江口 僚 (株式会社サイバーエージェント AI Lab)

題目 今日の企業の面白さを僕たちはまだ知らない。～アカデミア・インダストリ・ボーダーレス時代～

概要 良い研究をして論文を書く。賞や学振、科研費を取り、授業や査読に学生指導、海外留学にコネ作り。学生時代からアカデミックポストを目指し、様々な準備をしていざ就活を始めたが.. ん? なんか上手くないぞ.. ? 心の中で何かがブツンと切れて企業就活を始めてみたら、全く知らない新しい世界が広がっていた。本講演では、アカデミアの人たちが知らない今日の「企業での研究」の面白さについて紹介する。

略歴 2021 年 3 月に慶應義塾大学大学院 理工学研究科 後期博士課程を修了。同大学研究員を経て、同年 9 月より米国スタンフォード大学研究員 兼 日本学術振興会海外特別研究員。その後帰国し、2024 年 4 月に株式会社サイバーエージェントに入社。現在、デジタルマーケティング全般に関わる AI 技術の研究開発を行う AI Lab のリサーチサイエンティストとして、ユビキタスコンピューティング技術を用いたヒトの行動計測・誘導に関する研究に従事。